

# 12月議会報告ニュース

日本共産党三郷市議 工藤ちか子

市長から提案された議案は18件請願書は1件、請願書以外は可決されました。



## 子ども家庭センターを設置

子ども家庭庁の設置と児童福祉法の改正により、本市はすべての妊婦・子育て世帯・子どもへ一体的に相談支援を行う「子ども家庭センター」を設置する（令和6年度から）こととなります。

工藤議員は、市長にセンターの役割について質問。市長は「本市は子育てに優しいまちを目指し、子育て家庭と子どもをまんなかにしたまちづくりを推進する子どもまんなか応援サポートを宣言。センターを設置することで市民一人ひとりに寄り添った子育て支援をさらに充実させる」と答弁しました。また5歳児健診の実施についても要望、部長は「他市の状況を把握し検討する」と答弁しました。



福島県へ復興視察

10月新婦人の仲間と双葉・浪江町などの被災地や原発施設を視察



県庁前の集会に参加  
県議会に自民党会派から「児童虐待防止条例」が提案されたが、多くの県民から反対の声が上がり撤回される



三郷市防災訓練に参加  
消防職員・消防団による救助訓練を見学。安全なまちづくりに市民と力を合わせます。

## 産前産後期間 (4ヶ月分) の国民健康保 険税が免除

上記の事業が実施されることとなり、三郷市の国民健康保険税条例の一部が改正され、市議団は賛成しました。

申請が必要となりますが、出産予定の6ヶ月前から届出が可能です  
詳しい情報は下記から



## 一般会計補正 予算に賛成

補正予算の総額は、約5億2.600万円。主な事業費は放課後児童クラブ（幸房小）の安全対策費、学校給食食材費の高騰分の補助、子ども家庭支援センター設置のための修繕費などで市議団は賛成しました

なお、住民税非課税世帯への支援金1世帯7万円を支給する補正予算も追加され、市議団は賛成しました。

## 市長はじめ3 役の給与引き 上げに反対

市長・副市長・教育長の期末手当を0.1ヶ月引き上げる議案に反対しました。3役は、特別職手当（20%）が支給されており、一般職員の報酬を引き上げたからと、一律同列に引き上げる必要はありません。市議団は、物価高騰で苦しむ市民の理解は得られないとし、市民の暮らし・教育・福祉を最優先にする立場から反対しました。



11月16日、来年度の予算要望書を市長に提出

次年度の予算要望について市長はじめ3役との懇談を実施。町会長や市内民主団体の方々からのご要望をいただき、二十四項目、224件に取りまとめました。ご協力ありがとうございました。「市民の暮らしや教育・福祉最優先の市政へ」頑張ります。今年もよろしくお願ひ致します。



### 工藤ちか子の一般質問

#### 困難を抱える女性への相談体制の強化を

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」いわゆる女性支援法が令和4年に成立し、翌年3月に基本方針が示された。埼玉県の基本方針に基づいた基本計画案は、「市町村は困難を抱える女性にとって最も身近な相談窓口となるとともに、福祉制度や支援の実施主体となる」さらに「アウトリーチなどによる早期把握」が求められ「相談となる入口の段階では可能な限り幅広い方を対象とする」としている。

工藤議員は、女性に対する性暴力や性搾取・貧困やDVなど複合的に困難に陥る実態は顕著に現れている。したがって「相談などに対応する職員の専門性や高度なコミュニケーション技術が求められる」ことから正規職員による体制強化を求めたが「調査・研究する」にとどまる。他にゴミ戸別収集・認知症支援・紙おむつ支給の拡充な

#### 市民から提出された請願書不採択

国に対し「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願書

三郷市社会保障推進協議会から提出された請願書は健康福祉常任委員会に付託されましたが、「マイナ保険証に関する間違った情報の紐つけなどの問題は、国が対応している」など反対する議員があり、日本共産党以外の反対多数で否決されました。

日本共産党市議団は「マイナンバーカードをめぐるトラブルが後を立たず、マイナ保険証の利用率はたったの4.49%まで落ち込んでいる。資格確認が発行されても申請が必要など無保険者が大量に発生しかねない。」として、請願に賛成しました。

会派名	共産党	新政会	21世紀	公明党	政志会	みらい
賛否	○	×	×	×	×	×

#### 生活相談・法律相談・お気軽に

日頃から住民皆さんの相談にのり、暮らしやすい三郷市にする活動もしています。お悩みの方は下記へご連絡ください。

発行元：工藤ちか子  
三郷市彦成2-199-1 電話&FAX 048-958-8821



埼玉オール14区の集会 新三郷駅